

## 第8回 岩澤コンファレンス

### 「サステイナブル社会のための最先端触媒化学・表面科学」

2016年12月5日（月）－6日（火）

名古屋大学 VBL ベンチャーホール

<http://www.vbl.nagoya-u.ac.jp/access.html>

#### 12月5日（月）

13:00-13:05 開会挨拶

唯 美津木（名大物国セ）

#### － セッション1： 新触媒開発の最前線 －

13:05-13:40 酵素の誤作動を誘起する偽の基質と高難度酸化反応

荘司 長三（名大院理）

13:40-14:00 固体表面への触媒活性点集積による協奏効果の発現

本倉 健（東工大総合理工）

14:00-14:20 多変量解析を用いた Ziegler-Natta 触媒の構造性能相関解明

谷池 俊明（北陸先端大）

14:20-14:40 黒鉛層間を利用した金属ナノシートの調製、構造、触媒利用

白井 誠之（岩手大）

14:40-15:10 Reconstruction of Sintered Au Catalyst and its Implications

Y. Yuan (Xiamen Univ.)

（休 憩）（写真撮影）

#### － セッション2： 表面・界面科学の新展開 －

15:30-16:05 金属表面上のスタネンの創製と構造評価

柚原 淳司（名大院工）

16:05-16:25 実験および計算科学的解析によるイオン液体電気二重層界面の描像

福井 賢一（阪大院基礎工）

16:25-16:45 固液界面の生体膜モデル系における構造・ダイナミクス・反応性

手老 龍吾（豊橋技科大）

16:45-17:05 固液界面のピコニュートン力学計測

大西 洋（神戸大院理）

17:05-17:40 触媒化学・表面科学の方向性と課題

岩澤 康裕（電通大）

懇 親 会 （VBL ラウンジ）

#### 12月6日（火）

#### － セッション3： 燃料電池触媒の科学 －

09:30-10:05 ルテニウムを用いたアニオン交換膜形燃料電池用アノード触媒の開発

大山 順也（名大院工）

10:05-10:25 In situ CT-XAFS による燃料電池 Pt 電極触媒の劣化過程観察

松井 公佑（名大院理）

10:25-10:45 顕微 XAFS および TEM/STEM-EDS 同視野測定法を用いた

燃料電池触媒膜中の触媒劣化のイメージング

鷹尾 忍（電通大）

10:45-11:05 燃料電池用電解質薄膜の表面および内部構造と発電性能

犬飼 潤治（山梨大）

11:05-11:25 金属修飾酸化セリウム担持レニウム触媒上の脱酸素脱水反応を用いた

バイオマス由来化学品製造

富重 圭一（東北大院工）

（閉 会）